



いいで

学校便り 第13号

喜多方市立山都小学校

平成28年12月20日(火)
文責 校長 菊地 誠

2学期、まもなく終了!

81日間の2学期もあと2日を残すのみとなりました。始業式に「一人一人が、自分をもっともっと良くするために、もっともっと高めるために努力する学期にしてほしい。」と子どもたちに話をしました。水泳記録会に始まり、鼓笛パレード、校内マラソン大会、山都フェスティバルなど大きな行事がたくさんありましたが、全校生一人一人が力を出し合い、みんなが高まった山都小学校の2学期でした。

さて、間もなく、子どもたちにとって、待ちに待った楽しい18日間の冬休みが始まります。年末年始は保護者の皆様におかれましても、いつもよりゆったりとした気持ちで、子どもたちと関わる事ができるいい機会かと思えます。充実した年末年始をお過ごしください。

野菜の生産者の皆さんと会食を行いました。



生産者の皆さん

12月19日(月)、本校の給食の食材(野菜)を納入していただいている生産者の渡部さん、大江さん、須藤さんと5年生が会食を行いました。当日の献立は、ご飯、鮭の塩焼き、冬至カボチャ、みそ汁です。カボチャ、みそ汁の具の大根、ねぎが山都の地場産物です。山都給食センターでは、地場産物をできるだけ使って給食を作っています。野菜の他に味噌や醤油も山都産を使っています。3人にはそれぞれ班の中に入れてもらい、子どもたちと会話を楽しみながら一緒に給食を食べてもらいました。子どもたちの「パンよりご飯、それも和食が好き」という声を聞いて驚いていたようです。生産者の皆さんが、安心して安全な四季折々の野菜を提供してくれるおかげで季節感も味わうことができます。子どもたちの食を支えてくれる大切な方々です。

お正月は、家族で「家読」を!

本校では、「読書習慣を身につけた子ども」を目標に毎月の読書目標を設定しています。低学年が8冊、中学年が4冊、上学年が3冊です。11月に行ったアンケートでは「月の読書目標の冊数を読んでいる」と答えた児童は全体の34%で、なかなか目標達成とまではいかないようです。学校司書の菊地先生に、子どもたちが4月から読んだ本の冊数を調べてもらいました。その結果、低学年が2年生のK、Iさん(64冊)、中学年が4年生のF、Sさん(48冊)、高学年が6年生のM、Oさん(20冊)がそれぞれ最多貸出冊数でした。高学年になるほど、自分のお気に入りの本を本屋で買って来て読むという子も多いようですが、中には夏休み前に借りた3冊だけという子もいます。

本を嫌いな子に「本を読みなさい。」と言っても効果はありません。子どもを本好きにする魔法の言葉は「一緒に読もう。」です。お正月にもらったお年玉で、自分の読みたい本を自分で買って、暖かい部屋で、テレビを消して、家族みんなで「家読」をする。お正月の素敵な時間の過ごし方かもしれませんね。

入賞おめでとう!

11月以降の表彰者です。

【JA共済福島小・中学校交通安全ポスターコンクール】

奨励賞 6年 Y, K

【JA共済福島小・中学校書道コンクール】

奨励賞 6年 M, S

【耶麻地区音楽祭(創作の部)】

A部門 入選 6年 M, S

B部門 特選 6年 M, S

【川サミット絵画】 入選 3年M, I



新雪の飯豊山